

最新の歯科技工技術に関する講習会 I

都技 生涯 研修

[重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的によりZOOM（ズーム）システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
- ② 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）
- ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

[申込期間]

- 東京都歯科技工士会会員（上記①番）：7月13日(火) AM9時～
 - 学生並びに都技メイト会員（卒業後2年度内の方）（上記②番）：7月13日(火) AM9時～
 - 東京都内在住在勤歯科技工士（上記③番）：7月16日(金) AM9時～
- *受付開始日前のお申し込みは無効とさせていただきます。
*定員になり次第締切させていただきます。

[申込方法]

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは参加申請URLからお申し込みください。
参加申請URL：<https://https://bit.ly/2Uq1zgl>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail : sya-togi@muf.biglobe.ne.jp

令和3年度

最新の歯科技工技術に関する講習会 I

オンラインセミナー

第1部

「exocad – 新バージョン《3.0 Galwey》で追加された新機能の紹介」と
「デジタルスカルプト（カービング）のすすめ」

難羽 康博 先生

第2部

「歯科技工士だからこそ習得しよう
口腔内スキャナーのシステムについて」

～明日から対応できる光印象データ送受信までの流れと
意外と知られていない口腔内スキャナーラボサイド活用術～

久保田 尚紀 先生（ジャパンクオリティ(株) 取締役）



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和3年 **8月1日** 日

受付 **12:40** 開始 **13:00** → 終了 **17:00**

オンラインセミナー

定員 **80名**

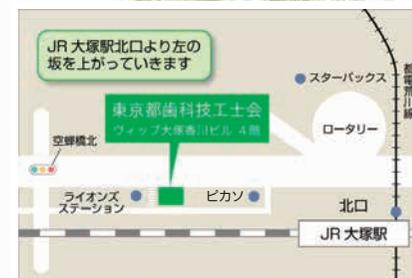
参加費 **無料**

会場受講

定員 **10名**

参加費 **無料**

場所 **東京都歯科技工士会 研修室**
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

都技
生涯
研修

第1部 13:00~15:00

「exocad-新バージョン《3.0 Galwey》で追加された新機能の紹介」と「デジタルスカルプト(カービング)のすすめ」

exocadは、昨年末に《2.4 Plovdiv》からバージョンアップされました。筆者が注目した機能は「歯の配置」ツールの『高度』です。この機能は臼歯のデザインにおいて超便利で、

- 高さが半自動で最適化される。
- 最低厚みエラーが半自動で修正される。
- 配置ツール上でモーフィングが使用できる。

などです。他の新機能もあわせて紹介します。

後半はデジタルスカルプトについてですが、歯の形を再現する技術のトレーニングとして、「石膏による歯型彫刻」が推奨されており、歯科技工士学校をはじめとして実施されてきました。

歯科用CADソフトによるデザインにおいても、技術を挙げるトレーニングとして「石膏による歯型彫刻」が有効であると筆者は確信しています。しかしながら、現在は無料の3Dソフトによるスカルプトが可能であり、石膏棒が不要、ゴミが出ない、というメリットがあるので、これをおすすめします。

なお、今回参加者には、おすすめソフトの「ダウンロード・インストールマニュアル」、「ソフトの使い方マニュアル」、そしてテンプレートファイル(ひな型)をプレゼントします。

■講師略歴

難羽 康博

[なんば やすひろ]



略歴

- 鳥根県歯科技工学校卒業
- 歯科医院に勤務後24才で上京
- 桑田正博研修会シニアコース修了
- 国際デンタルアカデミー DTS13期修了
- 早稲田歯科技工トレーニングセンター修了

1993～2001年 早稲田歯科技工トレーニングセンター主任インストラクター就任
2003年 東京整体療術学院修了。整体師資格(民間資格)取得
2009～2012年 早稲田歯科技工トレーニングセンター統括マネージャー就任
2012～2015年 早稲田歯科技工トレーニングセンターCAD/CAMクラスインストラクター就任
2015～2017年 ストローマンジャパンテクニカルサポート就任
2017年 デンタルCADデザイントレーナーとして起業(会社名アスパイア)

咬合・整体・健康・歯型彫刻・CADデザイン・教えること・自己啓発・人工知能に興味あり。

第2部 15:10~17:00

「歯科技工士だからこそ習得しよう 口腔内スキャナーのシステムについて」

～明日から対応できる光印象データ送受信までの流れと

意外と知られていない口腔内スキャナーラボサイド活用術～

今般の新型コロナウイルス感染症の発生の影響により歯科医院において対人接触率を軽減できる口腔内スキャナー(以後IOSと呼ぶ)が再認識され、関連補助金も手伝ってか急速にIOSは普及傾向にあります(弊社調べ)。その一方、歯科技工士の方にIOSについてご案内すると、「IOSは歯科医師が使用するものだから歯科技工士には関係ないよね」などの回答を頂きます。確かにIOSは歯科医師が使用しますが、スキャンしたデータの行く先はどこになりますでしょうか? そのスキャンデータを送信したいと依頼があった時に対応可能でしょうか?

実は、IOSデータを取り扱う上でラボ側でもいろいろ知っておくべきことがあります。そして、ラボで使用しております卓上のスキャンよりIOSの方が便利なケースもあります。

今回は、今後ますます普及するだろうデジタル技工において、現在急速に増えつつあるIOSの対応についてSHINING 3Dクラウドを用いて光学印象からデータ送信、データを受け取るためのクラウド設定、クラウドからのデータ受取について解説します。また、ラボでIOSをご購入された実用例についてもご紹介するとともに歯科技工だからこそIOSを理解し、スキャンデータが院内、海外に流れない方策に微力ながらお役に立ちましたら幸いです。

■講師略歴

久保田 尚紀

[くぼた なおき]



- ジャパンクオリティ株式会社 取締役営業部長
- 日本歯科技工所協会賛助会員